

対応済みのカスタマー要望一覧

Maplesoft は、お客様の声に耳を傾けます。Maple 17 では、要望のあった以下の多くの問題に対応しました。

1. [64 ビット Windows の Finance パッケージ](#)
2. [3-D プロットのデフォルト座標軸](#)
3. [2-D Math での自動補完](#)
4. [2-D 下付き文字の改良](#)
5. [検索と置換の強化](#)
6. [ローカルでの名前の宣言](#)
7. [コンポーネントのコード編集の簡素化](#)
8. [MapleCloud へのアップロード上限容量変更](#)

64 ビット Windows の Finance パッケージ

Finance パッケージを 64 ビット Windows で利用できるようになりました。64 ビットマシンの能力を活用して、財務計算や解析を実行できます。

3-D プロットのデフォルト座標軸

Maple 17 では、標準ワークシートの 3-D プロットはデフォルトで [BOX] 座標軸設定で表示されます。

従来の軸なしのスタイルを使用したい場合は、ワークシートのスタートアップコードまたはご使用のプラットフォームの Maple 初期化ファイルに以下の行を追加します。

```
plots[setoptions3d](axes=none):
```

2-D Math での自動補完

2-D Math でコマンドや関数名を入力する時に、一義的なアイテムに対してすばやく補完が行われるようになりました。アイテム名が一義的で補完可能な場合、黄色のツールチップがポップアップ表示されます。Tab または Return/Enter キーを押すと、提案されたアイテムが挿入されます。

2-D 下付き文字の改良

Maple 17 では、下付き文字を含むアトミック変数を従来のリリースより簡単に作成できるようになりました。

下付き文字を含むアトミック変数を作成するには、アトミック変数の後に下線を 2 つ入力し、その後に下付き文字を入力します。

検索と置換の強化

検索機能と置換機能が強化され、単純な名前の 2-D Math 式も検索できるようになりました。

たとえば、 x を検索すると 2D 式 $x^2 - y + 10$ の最初の項の x が検出されます。

ローカルでの名前の宣言

Maple 17 では、すべての変数をローカルで宣言できるようになりました。これには、Maple で他のユーザのために予約されている変数名も含まれます。

詳細は、[ローカル名](#)を参照してください。

コンポーネントのコード編集の簡素化

コンポーネントのコードをすばやく変更するには、コンポーネントを右クリックして適切な **[編集動作]** を選択します。

MapleCloud へのアップロード上限容量変更

最大 10MB までの Maple ワークシートを MapleCloud にアップロードできるようになりました。

参照

[Maple 17 の新機能一覧](#)、[Finance](#)、[Maple 17 での下付き文字](#)、[ローカル名](#)